



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月10日

上場会社名 森永乳業株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2264 URL <http://www.morinagamilk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 紘一 (TEL) 03 (3798) 0126
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員広報部長 (氏名) 田形 均
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	151,052	△1.8	5,230	△4.2	5,367	△5.2	2,376	△20.0
22年3月期第1四半期	153,818	3.2	5,457	53.2	5,660	54.7	2,969	76.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	9	47	9	45
22年3月期第1四半期	11	76	11	74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
23年3月期第1四半期	363,417	103,018	27.8	403	22
22年3月期	357,880	103,635	28.4	405	26

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 101,179百万円 22年3月期 101,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
22年3月期	—	—	—	7	00	7	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7	00	7	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	315,700	0.3	12,700	△2.4	12,900	△2.1	6,700	△4.1	26	70
通期	588,000	0.5	17,200	0.6	17,000	△0.1	8,000	△0.2	31	88

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、【添付資料】2ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	253,977,218株	22年3月期	253,977,218株
② 期末自己株式数	3,044,384株	22年3月期	3,018,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	250,936,451株	22年3月期1Q	252,519,751株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中でありませ

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、経済政策の効果や海外経済の回復などを背景に景気は持ち直してきてはいるものの、依然として雇用情勢は厳しく、物価も緩やかなデフレ状況が続いております。また、円高・株安の傾向が強まるなど、引き続き景気の先行きは不透明な状況にあります。

食品業界におきましては、消費者の節約志向、低価格志向が定着し、経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のもとで、当社グループは、お客さまのニーズに応えた商品の開発、改良に努めるとともに、積極的な販売促進活動を行う一方で、原材料の有利調達や、生産・物流を中心に各部門において徹底したローコストオペレーションに引き続き取り組みました。

しかしながら、当第1四半期連結会計期間においては、森永乳業単体の売上高は、消費の低迷や天候不順の影響などによって牛乳類、アイスクリームなどが伸び悩んだことから、前年同期実績を下回りました。一方、連結子会社の売上高は前年同期実績を上回りましたが、当社グループの連結売上高は1,510億5千2百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

連結の利益面では、売上高の減少に加え、広告費を中心とする販促促進費の増加などによって、営業利益は52億3千万円（前年同期比4.2%減）、経常利益は53億6千7百万円（前年同期比5.2%減）となりました。また、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額を特別損失に計上したことなどから、四半期純利益は23億7千6百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、主に季節的要因により「受取手形及び売掛金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ55億3千7百万円増の3,634億1千7百万円となりました。

負債の部は、同様に季節的要因により「支払手形及び買掛金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ61億5千3百万円増の2,603億9千8百万円となりました。

純資産の部は、「利益剰余金」は増加しましたが、投資有価証券の時価下落に伴い「その他有価証券評価差額金」が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ、6億1千6百万円減の1,030億1千8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の28.4%から27.8%に、1株当たり純資産額は前連結会計年度末の405.26円から403.22円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当社（提出会社）及び連結子会社において当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積

実行税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比べ、売上総利益、営業利益及び経常利益はそれぞれ3百万円、税金等調整前四半期純利益は267百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は350百万円であります。

②企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

③「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,261	12,910
受取手形及び売掛金	54,678	49,702
商品及び製品	27,305	27,382
仕掛品	779	973
原材料及び貯蔵品	6,333	6,992
その他	15,619	13,927
貸倒引当金	△1,253	△1,176
流動資産合計	116,725	110,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	72,296	72,449
機械装置及び運搬具（純額）	59,860	60,072
土地	71,950	71,725
その他（純額）	12,118	12,086
有形固定資産合計	216,225	216,334
無形固定資産		
無形固定資産	5,487	5,517
投資その他の資産		
投資有価証券	13,987	14,051
その他	11,270	11,663
貸倒引当金	△277	△398
投資その他の資産合計	24,979	25,315
固定資産合計	246,692	247,167
資産合計	363,417	357,880

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,152	59,365
短期借入金	6,033	6,870
1年内返済予定の長期借入金	6,106	5,997
コマーシャル・ペーパー	11,000	—
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	2,288	3,619
未払費用	29,379	29,854
その他	25,066	22,314
流動負債合計	145,026	138,022
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	32,390	33,147
退職給付引当金	11,676	11,668
その他	11,304	11,406
固定負債合計	115,371	116,222
負債合計	260,398	254,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,442	19,442
利益剰余金	64,142	63,522
自己株式	△1,138	△1,129
株主資本合計	104,150	103,539
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,826	△1,833
繰延ヘッジ損益	△14	35
為替換算調整勘定	△129	△37
評価・換算差額等合計	△2,970	△1,835
新株予約権	142	142
少数株主持分	1,696	1,788
純資産合計	103,018	103,635
負債純資産合計	363,417	357,880

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	153,818	151,052
売上原価	107,087	103,400
売上総利益	46,731	47,651
販売費及び一般管理費	41,273	42,421
営業利益	5,457	5,230
営業外収益		
受取利息	26	22
受取配当金	235	277
受取家賃	122	126
持分法による投資利益	45	43
その他	304	264
営業外収益合計	732	734
営業外費用		
支払利息	434	494
その他	95	102
営業外費用合計	530	597
経常利益	5,660	5,367
特別利益		
固定資産売却益	0	58
補助金収入	45	21
その他	—	24
特別利益合計	46	103
特別損失		
固定資産処分損	37	31
(財)ひかり協会負担金	433	434
投資有価証券評価損	—	259
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	263
その他	73	2
特別損失合計	544	992
税金等調整前四半期純利益	5,162	4,478
法人税等	2,163	2,130
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,348
少数株主利益又は少数株主損失(△)	29	△28
四半期純利益	2,969	2,376

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

第1四半期販売実績(単体)

(単位：百万円)

製品分類	平成23年3月期 第1四半期実績		
	金額	前同差	前同比(%)
市乳計	53,205	△ 2,258	95.9
牛乳類	19,767	△ 1,547	92.7
乳飲料等	17,226	△ 633	96.5
ヨーグルト	13,043	709	105.8
プリン等	3,168	△ 786	80.1
乳製品	24,349	70	100.3
練乳	1,174	△ 53	95.6
粉乳	9,307	△ 322	96.6
バター	3,034	483	118.9
チーズ	10,831	△ 35	99.7
アイスクリーム	14,159	△ 811	94.6
その他計	24,273	△ 450	98.2
飲料	8,022	△ 249	97.0
その他	16,251	△ 201	98.8
合計	115,987	△ 3,449	97.1

(注) その他のその他には、ゼリー、クリーム類などが含まれる

※上記の個別売上高については、法定開示におけるレビュー対象ではありません。